

Hospital Information



副院長(産婦人科部長)
大槻 芳朗

女性の明るい生活のために

昔、若くて元気いっぱいだった女性も、老年期を迎えると心身ともに多少がたついてきます。これからはのんびりと暮らしたいところですが、何よりも健康でないと楽しく暮らせません。お医者さんには相談できないで我慢したり、自分では気が付いていない病気があります。



産婦人科の医師

うつ病

典型的なうつ病は、外出もできず気分も滅入っていますが、軽いものは更年期障害として我慢されていることが多いようです。抗うつ剤の使用により身体症状も気分も軽快になります。精神科を受診することに抵抗のある人は、産婦人科で一度相談してみましょう。

尿失禁

くしゃみなどお腹に力が入った時に漏れる(腹圧性尿失禁)と、トイレに行きたくなったら我慢できない(切迫性尿失禁)とに大きく分けられます。程度の差はあるものの、更年期以降の女性の数人に一人はあります。勇気を持って相談してください。

骨粗鬆症

骨がもろくなる病気です。転んだ際に簡単に骨折してそのまま寝たきりになることもあります。こうなってからでは遅いので、閉経を迎えるころには骨密度を測ってみることが勧められます。閉経を境に10年間は骨量が急速に20%も減少し、この後はゆっくり減少していきます。閉経時に骨量が少ない人は、最初の10年間で骨量を減らさないようにしないと、骨粗鬆症になりやすいのです。骨量測定を受けるようにしましょう。

病気と栄養

出産後の食事

妊娠中は母体の変化で、皮下脂肪が肩から上腕、腹部、臀部、大腿部などに蓄積します。これらは出産後の授乳や育児労働のために必要量が増加するエネルギーの一部として利用されますが、赤ちゃんの離乳が進み、母乳の分泌が減るような時期になると通常は必要エネルギーが減少してきます。この段階で摂取エネルギーを調節しなければ体重が元に戻らなくなったり、必要以上に体重が増えたりして、いわゆる“産後太り”の状態になってしまいます。ですから母乳の分泌が減ってくる頃が分岐点だと考えて、この時期に肥満傾向にある方は、間食の習慣をやめたり、妊娠中や授乳中についた食習慣を元に戻すなどの方法で適正体重に近づけ、それを維持するようにしたいものです。また、母乳の分泌量が多い時期は、水分の必要量も増加しますので、水分が多い食べ物や、牛乳やお茶などを適度に補うことが大切です。

栄養管理課 西尾 勢津子

熱性けいれんが起ったとき
発熱時にひきつけを起こすことは、3〜7%の乳児にみられます。けれども目を前にすると、大変あわてるものですが、歯を食いしばっていても口に物を入れてはいけません。発作の長さ、状態を落ち着いて観察することが大切です。半身だけの非対称的ないれん、10分以上続いたり、繰り返したり、意識障害が長びいたりする場合は、緊急に受診が必要です。髄膜炎、脳炎といった病気のことにもまれにあります。熱性けいれんを何回も繰り返す場合は予防方法もありますので、小児科医にご相談ください。



健康わんぼいんとレッスン

1 Point Lesson

こどもの症状と対処
発熱

小さなお子さんの発熱は、周りの者にとって大変心配な症状のひとつです。発熱そのものより全身の状態が、緊急度の基準になります。しかし、3ヶ月以下の赤ちゃんの熱は別で、あまり症状がなくても重大な感染症のこともありますので速やかに小児科を受診することが必要です。

解熱剤はどう使うか

発熱によって体温が41.5度を超えることは、生理学的にまれです。したがって、熱が高いからということだけで解熱剤を使うことはせず、あくまでも全身状態をみながら使用するのが原則です。熱が高くても機嫌が良い、すやすや寝ているのであれば使わず様子を見たほうがいいでしょう。逆に、高熱が続いて機嫌が悪い時に少し熱を下げることで水分がとれば、脱水の進行も防止でき効果的かと思えます。なお、使用する解熱剤の種類は小児科医の指示に従い、6〜8時間はあけて使うようにしましょう。1歳未満の赤ちゃんは、保冷剤や氷で腋やそけい部などを冷やすだけでもかなり解熱効果はあり、まず試みるべきです。



小児科 部長
西垣 敏紀



大阪けいさつ病院
理念

人々の健康と幸せのために、人権を尊重しつつ「愛・熱・和」の精神をもって質の高い医療を提供します。

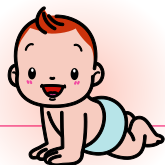
基本方針

大阪けいさつ病院は、患者さま中心に質の高い医療を提供するため、次のことをめざします。
【人権】患者さまの基本的な人権を尊重し、平等に医療を受けられるよう配慮します。
【医療の質】急性期病院として、安全かつ高度な医療を実践し、皆さまの満足を得られるよう努力します。
【地域への役割】地域の中核病院として、他の医療機関との連携を高め、住民の皆さまの健康を守ります。
【職員の行動指針】患者さまのため医の倫理を尊重し、常に自己研鑽し、誠意を持って行動します。

患者さまの権利と義務

大阪けいさつ病院は、理念に基づく基本方針を実践するため、ここに「権利と義務」の規範を掲げます。
1. 個人の尊厳及びプライバシーが守られること。
2. 平等かつ最善の医療が受けられること。
3. 自己の病状や治療に関して、十分な説明を受け、了解した上で自ら決定すること。
4. 最善の治療を受けるため、ご自身の健康に関する情報を提供していただくこと。
5. 他の患者さまの療養生活を妨げないよう、お互いに配慮していただくこと。

**助産師が親切、丁寧にケアいたします。
妊婦さん、安心しておこしてください。**



5階西病棟(産婦人科病棟)師長 植村 恵美子

当院は、助産師による一貫した妊娠、分娩、産褥の保健指導を行っております。

外来での指導は、おめでたで来られた初診時に、これからの妊娠中の過ごし方や、入院時のご案内等を詳しくお話しします。妊娠20週の中期には後半の過ごし方や体重管理のための栄養指導をします。

30週の胎動カウント指導は、日々お腹の赤ちゃんが元気である証の胎動を、一日一回測定してもらう方法をお話しします。36週の母乳準備指導は乳頭のマッサージ方法をお話しします。助産師が月～金曜日まで午前中外来指導室に居りますので、お尋ねになりたい事は何でもお聞きください。

母親学級は、毎週金曜日の午後1時～3時まで行っております。随時予約はいりません。ご夫婦で受けられる両親学級は予約制ですので、ご希望の方はいつでもお申し付けください。

出産後は電話訪問や一ヶ月の産後指導をしています。また、有料ですが、母乳外来も開催していますので、母乳が足りているか不安な方は予約されて、赤ちゃんと一緒においでください。その他、育児のことや、わからない事は何でもお聞きください。心よりお待ちしております。

大阪警察病院附属 人間ドッククリニックについて

常勤医師 岡野 理江子



長年けいさつ病院内で行われてきた人間ドックが「大阪警察病院附属人間ドッククリニック」として平成16年7月に上本町六丁目に移転してから、早いもので9ヶ月がたちました。この間、人間ドックを受診していただいた方の総数は約2800人で、1ヶ月に換算しますと、330の方が、ドックをご利用なさったこととなります。受診者の内訳は、警察協会、事業所の健康保険組合、個人のお客様となっております。

現在おこなっております人間ドックのコースに関しては、①**基本の日帰りコース**(1日でくまなくチェックができるお手軽なプランです)。②**宿泊ドックコース**(ゆとりあるスケジュールで徹底的にチェック、少人数制で、きめ細やかな健診が可能です)の他に、日帰りコースに乳癌、子宮癌など女性特有の病気に関する検査をセットした③**レディースドック**(女性の内科医、産婦人科医、乳腺専門医が担当しますので安心して受診していただけます)。脳卒中の原因を発症前に発見することを目的とした④**脳ドック**(最新のMRI、MRA画像が得られます)。⑤**肺癌ドック**(通常のレントゲンでは分かりにくい微少な肺癌の早期発見が可能です)があります。また消化管に関しては、通常のバリウム造影検査以外に、内視鏡専門医による胃内視鏡、大腸内視鏡を行っています。ゆったりと清潔なお部屋で検査までの待ち時間をすごしていただき、検査に関してもご希望の方には、セデーション(痛み止めの注射を行い、眠ったまま検査を行います)を施行しており、これまで内視鏡が苦手であったとおっしゃるかたも、安心して検査を受けていただけます。日帰り検査に関しては、朝8時過ぎに受診いただき、迅速に検査を行いますので、午前中にすべての検査、結果の説明を受けていただけるため、時間を有効に使いたい方には最適です。

現在、我が国では医療の質への関心が高まっています。そんな中「現在の医学知識を反映した最善の医療サービス」「受診者個々人の価値観と期待に適合する医療サービス」に関して、当ドックでは自信をもって皆さまにそれらの提供をさせていただきます。受診後、疾病が発見され精密検査が必要になりましたら、大阪けいさつ病院本院を初め、ご希望の医療機関へのご紹介、ご案内をさせていただいておりますので、是非お気軽にお問い合わせください。



エグゼクティブルーム
(7階エグゼクティブフロア)



健診待合ホール
(5階健診フロア)

問い合わせ先

06-6775-3131にお電話ください。
インターネットによる申し込みも行っております。
<http://www.oph.gr.jp/doc>

連携医のご紹介



医療法人風早会

外科野崎病院(外科、整形外科、胃腸科、肛門科、循環器科)
大阪市東成区深江南2-20-15 電話:06-6971-3506
URL <http://www.nozaki-hospital.com>

私どもは、大阪市東成区で50年以上にわたり地域医療に専念して参りました。

外科領域を中心に救急病院としてご利用いただくとともに、往診・在宅医療にも力を入れ、患者さまのニーズにお応えしております。

また、けいさつ病院とのかかわりも深く創設者の野崎道郎はけいさつ病院初代副院長であり、私自身もけいさつ病院の外科でお世話になりました。副院長今分茂(前けいさつ病院外科副部長)、藤田修弘(元けいさつ病院救急外科部長)もOBです。特殊検査や高度な手術、治療を要する患者さまの多くはけいさつ病院へ紹介させていただいておりますし、けいさつ病院から当院へも、術後やりハビリの患者さまなど多数ご紹介いただいております。今後とも連携を深め患者さまの信頼に応えていきたいと考えております。



「女子トイレのドアに、和式か洋式の表示をしてほしい。」

外来で通院中の患者さまから、女子トイレに関するご意見をいただきました。トイレのドアに様式の表示がなかったため、患者さまにはご不便をかけてしまいました。快適に使用していただくため、ドアに表示をする準備をしております。貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。

施設課



造幣局の通り抜け「今年の花」
紅華(こうか)

投稿の募集

(皆さまからのご意見・ご質問等)

メールでのご連絡はこちらまで
master@oph.gr.jp

病状の詳細につきましてはメールでは誤解が生じる場合がございますので直接ご来院の上ご相談くださいませ。

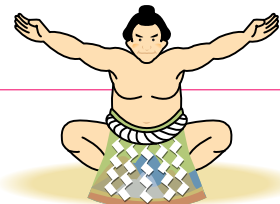
編集後記

けいびょうニュースも10号の節目を迎えました。患者さまに情報を提供するだけでなく、その内容についてお気軽にご相談、ご質問していただくことで、患者さまと病院とのコミュニケーションが深められるような紙面にしていきたいと思っています。紙面に対するご意見、取り上げてほしい記事のご希望等があれば、ぜひお寄せください。

小児科 部長 西垣 敏紀

大相撲「新弟子検査」が行われました

医事第二課



毎年開催される「大相撲新弟子検査」が今年も3月5日(土)に当院で行われました。

74名の受験者が遠方から来院され、身長や体重、心電図などの検査を受けられました。

検査の結果、70名が合格され、相撲道の世界に足を踏み入れました。